

## HAKODATEコンシェルジュ養成プログラム 科目概要

### ⑥ 観光コンシェルジュ実習

北海道教育大学函館校  
准教授 奥平理

今年度の「観光コンシェルジュ実習I・II」は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「三密の回避・オープンエア下での実施」を心がけた。なお、今年度は実習Iと実習IIを前後期に連続して開講した。

#### 【前期:観光コンシェルジュ実習I】

##### 1. 観光ガイド3団体からの講義

5月26日の講義では、函館市内の観光ガイド3団体から各団体の活動内容等の説明があった。観光ボランティア「一會の会」の佐藤喜久恵様より「おもてなし」と「コンシェルジュ」の意味と重要性について、自然倶楽部の鎌鹿隆美様より「リスクマネジメント」の重要性について、函館善意通訳会の三浦由利子様より善意通訳会の活動内容について、それぞれ説明を頂戴した。講義後、学生たちはゲストスピーカーの皆様より激励のお言葉を頂戴したり、質疑応答の時間を設けていただいたりするなど、実地ガイド実習に向けてとても参考になったと話していた。

##### 2. まちあるき体験実習

###### 「本学と亀田川の関係を知る」

6月2日の講義では、奥平が「本学と亀田川の関係を知る」まちあるきコースを造成し、学生たちは実際にガイド付まちあるきを体験した。その際に自然倶楽部の鎌鹿様も同行していただき、充実したまちあるき体験実習となった。終了後に学生たちは、身近なところに意外な自然や遺構が残っていることに初めて気づいたと話していたのが印象的であった。

##### 3. 作業実習「ガイドコース造成」

6月9日と26日は「ガイドコース造成」のためのグループワーク授業を行った。学生9名を3班に分け、奥平がこれまでに造成した西部地区・湯川地区・谷地頭地区・五稜郭地区のまちあるき配信資料を提示して、各班に4地区から実際に案内する地区を選定させた。その結果、「湯川地区」を除く3地区が選定され、学生たちは文献調査や実地検分など、実地ガイド実習に必要なコース造成を行った。

##### 4. 実地ガイド実習

6月23日に西部地区(元町)、7月7日に谷地頭地区、14日に五稜郭地区でそれぞれ「実地ガイド実習」を実施した。3日も雨に降られることなく、初夏の爽やかな気候の下で実習を行うことができた。学生たちは「ガイドコース造成」作業で調べ上げて、自分たちで造成したコースを楽しむかのように、自信を持って説明を行っていた。

#### 【後期:観光コンシェルジュ実習II】

##### 1. グループワークによるガイドコース造成実習

10月13日からの3週は「ガイドコース造成」のためのグループワーク授業を行った。後期の実習IIを履修した学生4名は全員、実習Iを習得済みのため、4人1グループで2回の実地ガイド実習に取り組みさせた。コースの選定については、前期に取り上げられなかった湯川地区を必須として、もう1地区はグループに選定させた。その結果、「湯川地区」と「西部地区(函館山山頂)」が選定されて、学生たちは文献調査や実地検分など、実地ガイド実習に必要なコース造成を行った。

## 2. 実地ガイド実習

11月10日に湯川地区、11月17日に函館山山頂でそれぞれ「実地ガイド実習」を実施した。昨年は12月に実習を行ったところ、猛吹雪に見舞われたことから、今年は授業構成を前倒して、11月中に実習を終われるように試みた。幸い、2日とも雪に降られることはなく、この時期としては温暖な気候の下で実習を行うことができた。今回の実習は全員2～3回目の実地ガイド実習ということもあって、全員が余裕を持って、ほとんど何も見ないでしっかりと「ガイド」を行っていた。そして、学生たちが実際にまちあるきガイドを行ってもほとんど支障のない水準に達したことを実感することができた。

## 3. 学生による造成コースのプレゼンテーション・YouTube鑑賞と3団体との意見交換

12月2日に観光ガイド3団体の方々にお集まりいただき、意見交換会を実施した。はじめに、学生が造成コースのプレゼンテーションを行い、続いてYouTube動画を全員で観賞した。一會の会の佐藤喜久恵様からは「皆さんがガイドをできるほどに成長してくれてうれしい。私たちの会もお待ちしています。」とのお褒めの言葉をいただいた。また、受講学生の一人は「今回の経験を生かし、より参加者に伝わるまちあるきガイドを実際に行ってみたい。」と意気込みを話してくれた。

今年度から本格実施に移行した「観光コンシェルジュ実習Ⅰ・Ⅱ」であるが、成功裏に終わらせることができた。これも本学関係の皆様や観光ガイド3団体の皆様の温かいご支援とご協力、ご指導の賜物であり、心より御礼申し上げたい。

